

Q02 災害時の広報はこれからどう変わるの？

**A** 皆さんの暮らしや生命を守るための大事な情報が入手しやすくなります。

これまで避難勧告などの緊急情報は、消防車両による広報や町内会などの放送機器を使用してお知らせしていました。しかし、この方法だけでは情報が行き渡るまでに時間がかかり、また場所によって放送が聞き取りにくいことがありました。

防災行政無線があれば、災害などの緊急情報を消防局から24時間体制で素早く、一斉に放送できるようになります。また、消防車両による広報も継続することで、より効果的な情報発信を行えるようになります。



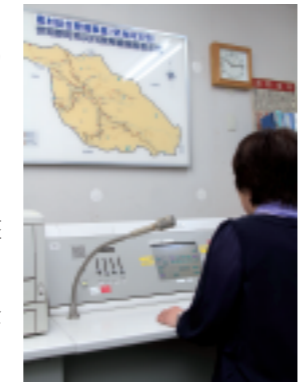
消防車両による広報

Q03 市町合併の前に整備された防災行政無線はどうするのですか？

**A** 既存の設備を活用しながら、整備を進めていきます。

吉井地域をはじめ、合併で新たに本市に加わった地域では合併前に防災行政無線が整備されています。平成18年9月に台風13号が本市付近に上陸したときには、これらの地域では防災行政無線を使い、台風の接近をいち早くお知らせできたなど、住民の暮らしの安全に役立っています。

このように、旧町地域の防災行政無線は現在でも十分に使用できるため、引き続き活用します。これらの設備を新たに整備する旧佐世保市域分と接続することで、市内全域に緊急情報を発信できる体制を整えます。



世知原行政センター内の親局

Q04 放送する内容を教えてください。

**A** 災害に関する緊急情報や、皆さんの生活に関わる重要な情報をお知らせします。

防災行政無線で放送する情報は、次の項目を予定しています。なお情報の内容や緊急性を考慮して、必要とされる地域に限定して放送することもできます。

- **災害に関する緊急情報**  
災害時の避難準備情報、避難指示、避難勧告  
大雨、洪水、暴風などの気象警報
- **全国瞬時警報システムからの速報**  
地震や津波に関する情報  
他国からの武力攻撃などの有事情報
- **市民生活に関わる重要な情報**  
火災情報  
災害時の道路交通情報  
断水情報などの重要な情報
- **時刻放送**  
試験放送を兼ねた時刻放送(正午のチャイムなど)を1日1回程度行う予定です。

※防災行政無線は災害などの緊急情報を皆さんにお知らせするための、いわば警報装置のようなものです。町内会などが管理している放送機器とは、用途や目的が異なります。

**全国瞬時警報システムとの接続を開始します**

全国瞬時警報システム(通称:J-ALERT)とは、地震や津波、他国からの武力攻撃など時間的余裕のない事態が発生したときに、人工衛星を使って情報を発信し、市町村の防災行政無線を自動的に作動させ、住民に緊急情報を伝えるシステムです。国(総務省消防庁)が平成18年度から運用しています。本市でも、ことし12月ごろをめどにこのシステムとの接続を開始します。これにより、地震速報など極めて緊急性の高い情報を、防災行政無線を使って素早くお知らせできるようになります。

特集

安全で安心なまちづくりのために  
**防災行政無線を整備します**

大雨や台風による風水害、地震などといった災害は、いつ起こるか分かりません。また災害で道路や電力などが使えなくなり、情報が遮断されることもあります。このようなとき、災害に関する情報を皆さんにいち早く確実に伝える手段として、本市では旧佐世保市域(市町合併前の佐世保市域)において防災行政無線の整備を進めており、早いところでは本年12月ごろから、整備が完了した順に運用を開始します。今回の特集では、この防災行政無線の仕組みと整備計画について、お知らせします。



Q01 防災行政無線とは、どのようなものですか？

**A** 災害などの緊急情報を皆さんにお知らせするための設備です。

防災行政無線とは、大雨や台風などの気象情報や、地震などの緊急情報を素早く一斉にお知らせすることを目的とした放送設備です。

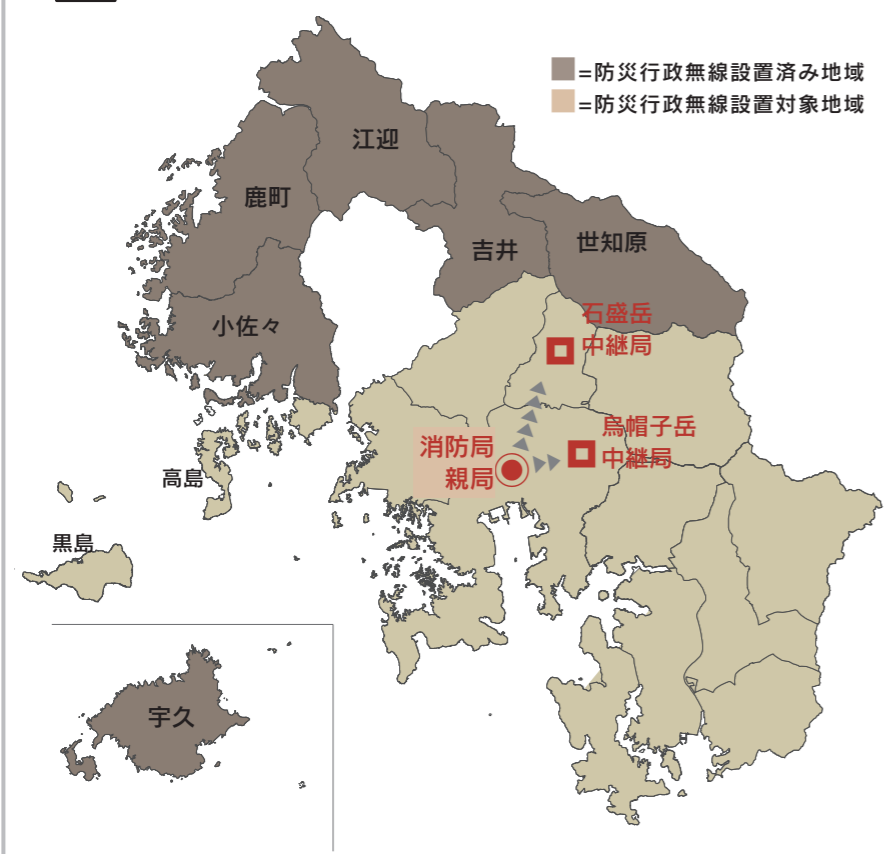
デジタル無線を使った設備で、親局、中継局、子局(屋外拡声子局)から構成されます。消防局に設置する親局からの情報をデジタル波で発信し、中継局を介して、各地に設置する子局が受信し、拡声スピーカーを使って放送する仕組みとなっています。

無線を使った通信設備のため、災害時に回線が切断される恐れがありません。また、子局と中継局は電源装置を備えており、災害による停電時にも作動します。

**子局(屋外拡声子局)**  
高さは約15メートルで、上部に受信用のアンテナと拡声スピーカーを備えた設備です。放送が届く範囲は、1基あたり半径およそ300~450メートルで、今後、旧佐世保市域に計336基を設置する予定です。(写真は江迎地域のもの)



緊急情報を素早く、一斉に、皆さんに!  
防災行政無線設置計画



運用開始予定表 中学校区名(子局設置数)

第1期 平成23年12月運用開始予定
東明(38)、福石(8)、崎辺(8) 山澄(11)、光海(6)、愛宕(20) 野崎(7)、日野(15)、早岐(18) 宮(13) 計10中学校区(144子局)
第2期 平成24年運用開始予定
浅子(3)、相浦(19)、中里(24) 清水(12)、祇園(16) 日宇(31)、広田(13) 計7中学校区(118子局)
第3期 平成25年運用開始予定
大野(20)、柚木(20)、三川内(24) 黒島(10) 計4中学校区(74子局)

慌てず、素早く、近所で協力して  
消防局東消防署長 石田 良文



実際に災害に遭遇した際、人は無意識のうちに「自分は大丈夫」などと考えてしまうそうです。こうした心の傾向を「正常性バイアス」と言いますが、これが避難の遅れを引き起こす大きな要因の一つになっています。災害時には、まずは正確な情報を入手し、

慌てず、素早く、適切な行動を取りましょう。また、平成16年の新潟福井豪雨災害のときには、災害情報の放送を聞き取れなかった高齢者が逃げ遅れて犠牲となったケースが発生しました。災害発生時には、行政が適切に情報発信することはもちろん大切ですが、避難の必要が生じたときには、近くに住む人が高齢者のお宅を訪問して直接、避難を呼び掛けるなど、ご近所で協力し合うことが大変重要です。

地域の住民が連絡、協力して「自分たちの地域は自分たちで守る」ための防災活動を行っているのが自主防災組織です。市内では196団体が結成されており(平成23年3月1日現在)、地域の防災力向上に努めています。地域で防災活動にあっている人にお話を伺いました。

日ごろから声掛けや防災訓練への参加を  
宮地区連合町内会会長 山下 弘文 さん

宮地区では一人暮らしのお年寄りが多く、中には一人で避難できない人もいます。災害時には、地域に住むわたしたちが率先してこうした人たちの安否を確認し、避難を手助けする必要があります。日ごろから声掛けしたり、防災訓練へ参加したりして、地域の防災意識を高めることが大事ですね。



Q05 整備は今後どのように進めていくのですか?

A ことしから平成25年度にかけて、中学校区ごとに子局の設置工事を行い、完成した順に放送を開始します。

- 整備のスケジュール  
本市では、平成23年度中に防災行政無線の基幹となる親局、中継局の整備を完了します。各地に設置する子局については、23年度から25年度までの3年間で、各中学校区をそれぞれ一単位とし、3期に分けて整備を進める予定です。  
  
第1期となる23年度には、佐世保湾周辺に位置する東明、福石、崎辺などの中学校区から子局の設置工事を開始し、その後、25年度までにそのほかの中学校区へと範囲を広げ、最終的には旧佐世保市域に計336基の子局を設置する予定です(P9防災行政無線設置計画参照)。
- 子局の設置予定箇所  
子局は、避難場所に指定された学校や公園、そのほか道路や河川沿いなど主に公有地に設置する予定です。皆さんに緊急情報が行き渡るよう、住宅の分布や放送の到達状況を考慮しながら設置予定箇所を選定し、順次工事を行っていきます。工事箇所の近隣にお住いの人にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。
- 運用開始時期  
子局は、設置工事が完了した順に運用を開始します。第1期に整備する箇所では、ことし12月ごろから緊急情報などを放送できるようになります。すべての工事が完了する25年度中には、市内全域に緊急情報を一斉発信できる体制が整います。
- 旧町地域との接続運用  
今回、旧佐世保市域で整備する防災行政無線には、雑音が少ない高品質の音声をお届けできるデジタル波を使った設備を採用します。  
  
吉井地域など、各行政センター管内に既に整備されている設備はアナログ波方式のものですが、デジタル=アナログ変換機を導入することにより、市内一律の無線通信環境を整える予定です。
- 放送が聞こえにくい場合の対応  
防災行政無線の整備が完了した後も、消防車両などでの巡回広報や市ホームページ上での災害情報の提供を継続して実施する予定です。また運用開始後は、聞こえにくい場所などについての調査も行う予定です。  
  
ほかにも、携帯電話などの防災メールやテレビ、ラジオと組み合わせながら、災害時の緊急情報が行き渡るよう、防災行政無線を補完する手段を検討していきます。

地区説明会を開催します

消防局では、子局の設置を控えている地区から順次、町内会等や消防団を対象に説明会を開催します。皆さんのご意見を聞きながら整備を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。  
※開催時期は、対象となる地区にその都度お知らせします。